

**179市町村との対話とサポートの強化**  
**徹底した現場主義を貫きながら、個性あふれる地域づくりなど市町村の支援を強化します。**  
 (政策展開の方向性)  
 多くの方々との対話を通じて地域の声を道政に活かす現場主義を徹底し、なおみちカフェやスクラムトークを充実するなど179市町村を積極的に訪問するとともに、デジタルを活用した「動く知事室」を実践します。また、振興局独自の事業を拡充するなど道庁のノウハウと人材を活用して個性あふれる地域づくりを支援します。市町村の情報発信をサポートするほか、自然災害や感染症など地域が直面する危機管理事案に機動的に対応する体制を強化します。一次産業の人手不足などの地域課題に取り組む道職員の副業を全道に広げていきます。

区分	主な取組	備考 (施策Code)
総合的な危機対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道内において北海道地域防災マスター認定研修会を開催【R6：11回】</li> <li>○地域防災力の向上に向け、想定最大規模降雨による洪水ハザードマップの作成を促進</li> <li>○自主防災組織活動カバー率の低い市町村へ訪問したほか、各種研修等の機会を通じて好事例を紹介するなど、自主防災組織の結成等について働きかけを実施</li> <li>○市町村における最新の津波浸水想定に基づくハザードマップや避難計画の作成等を支援するとともに、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震による被害の軽減に向け、避難施設等の整備促進を支援し、ハード・ソフト両面からの総合的な対策が遅滞なく着実に実施されるよう取り組みを推進</li> <li>○防災訓練の実施や元自衛官の配置などを通じた自衛隊との連携強化</li> <li>◇巨大地震及び津波対策の加速化と抜本的な強化及び実効性のある施策の実施や、津波避難施設等の整備に係る予算確保及び積雪寒冷地特有の課題も含めた補助制度等の運用、大規模災害等の発生に備えた自衛隊の体制維持・強化等を国に要望【R7.5】</li> <li>◇振興局に「危機対策室」を設置し、危機管理事案への対応を強化【R5.6】</li> </ul>	0103
地域創生の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市町村総合戦略の着実な推進に資する市町村の創意工夫を活かした取組を行えるよう、市町村の先進的・特徴的な取組事例をホームページや北海道創生ジャーナル「創る」で紹介したほか、国のデジタル田園都市国家構想交付金の相談会を実施【R6.10】</li> <li>○人口減少問題対策の総合的な企画、調整及び推進に向け、知事を本部長とし、各部長級で構成する「人口減少問題対策本部」のほか、道内各界の代表者等による「北海道創生協議会」を開催</li> <li>○官民交流サロン「CONNECT(こねくと)」を活用し、支援の獲得を目的とした企業とのマッチング会等を開催</li> <li>・実施したマッチング会のテーマ【R6.5 半導体関連・エゾシカ、R6.8 動物愛護、R6.9 DX関連・美術品など】</li> <li>○連携協定に基づく官民での協働活動として、道産品PRなど多様な取組を展開</li> </ul>	0208

※主な取組については、令和7年度基本評価・事務事業評価調書(「○～」)、道ホームページ等(「◇～」)より引用・作成

地域政策の推進	<p>○道内の日本遺産エリアにて、関係市町や振興局、民間団体と協力して、北海道遺産や日本遺産など地域の歴史や文化に触れる体験型イベントを開催し、来場者の約8割に関心を喚起するなど、地域への誘客を実施【R5.9小樽市：約1,300名、R6.5江差町：延べ258名来場】</p> <p>○地域遺産有効活用・人材育成研修会を開催し、他都府県の先進事例や地域活性化に繋げるノウハウについて学ぶ機会を設けることで、地域活動を担う「人づくり」に資する取組を実施【R6.5江差町で開催】</p> <p>○ジオパークや恐竜・化石など本道各地域の特性に応じ、民間企業の協力のもと関係市町や博物館などの施設が一体となり、その魅力を道内外へ発信し、各地域・施設へ人を呼び込むイベントを企画立案・実施するとともに、相互の取組の質の向上を促進【R7.2（恐竜・化石）埼玉県越谷市：延べ4,209名、R7.7同越谷市：延べ1,270名、R6.7（ジオパーク）三笠市：135名来場、R7.3（ジオパーク）札幌市：延べ2,022名】</p> <p>○地域づくり総合交付金などにより、市町村等が行う地域課題の解決や地域活性化に向けた取組を支援【地域づくり総合交付金 R6 決算額4,492百万円】</p>	0209
市町村自治の振興	<p>○振興局主導で「広域連携推進会議」を開催し、道と市町村が連携して地域課題の方向性を検討【R5：14振興局 R6：14振興局】</p> <p>○連携中枢都市圏や定住自立圏、道の広域連携支援制度を活用し、地域の実情に応じた広域連携の取組を推進【R5：178市町村 R6：178市町村】</p> <p>○地域の課題解決に向けた取組などをまとめた「広域連携前進プラン」に基づく取組を実施【R5：63事業 R6：66事業】</p> <p>○市町村（札幌市を除く178団体）に対するヒアリングを実施し、市町村の抱える課題の把握や、課題の解決に向けた助言等を実施</p>	0210
感染症対策の推進	<p>○教育機関等の協力を得て、医療機関において、院内の感染症対策を担う認定看護師の配置が進むよう取り組むとともに、厚労省主催の「院内感染対策講習会」について、医療機関に周知</p> <p>○感染症対応力の向上に向け、保健所において、保健所職員や関係施設職員を対象に防護服着脱等の研修を延べ25件実施</p> <p>○感染症危機管理対応訓練（全庁訓練）の実施</p> <p>◇「北海道感染症予防計画」策定【R6.3】</p> <p>◇感染症法に基づく医療機関等との医療措置協定の締結【R6～】</p> <p>◇「北海道新型インフルエンザ等対策行動計画」策定、道の感染症危機管理体制（司令塔機能）の整備【R7.3】、計画に基づく必要な対策の実施</p>	0416

※主な取組については、令和7年度基本評価・事務事業評価調書（「○～」）、道ホームページ等（「◇～」）より引用・作成

<p>農業の担い手の育成・確保と農業経営の総合的な体質強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○北海道農業担い手育成センターや市町村、関係機関・団体と連携し、就農相談会を開催し、研修受け入れや就農情報の提供、就農相談等を実施【R6：27回開催】</li> <li>○Uターン就農（農家子弟）希望者向けの就農勉強会や個別相談会の開催や、市町村との連携により新規参入の受入体制の整備に向けた伴走支援を実施</li> <li>○地域の関係機関・団体と連携して、就農相談体制の整備、就農時の施設・機械取得、就農後の営農指導など、就農・定着に向けて段階に応じた支援を実施</li> <li>○近年、農地所有適格法人数は堅調に推移している中、法人化等に関するセミナー・相談会を10回開催</li> <li>○農外企業の参入に向け、39件の相談対応を実施</li> <li>○農外企業の参入促進のため、「農業参入・連携促進セミナー」を開催し、57社95名が参加【R6.9】</li> <li>○市町村、JA、振興局に向けて農外企業の参入事例の紹介等の説明会を開催【R7.2】</li> <li>○農業アルバイトと観光を組み合わせた「農WORK（ノウワーク）トリップ」おすすめコースについて、ホームページに掲載しているコースに新規2市町含む3市町、計4コースを追加。現在、12市町村、計18コースを掲載</li> <li>○農外、道外の人材確保に向け、退職予定自衛官の農業インターンシップを2回開催（石狩管内）、鹿児島県徳之島との産地間連携により労働者2名の派遣を実施</li> <li>○農業現場において農業者・福祉事業者・障がい者の三者に対し実践的なアドバイスを行う「農福連携技術支援者」の派遣を8件実施。技術支援者のレベルアップに向けたセミナーを2回開催</li> <li>○農業団体と農業労働力WGを毎月開催。各団体との労働力確保に係る取組や情報共有を推進</li> </ul>	<p>0604</p>
<p>ICTの活用推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校内でICT活用を組織的に推進するための方策を見いだすことを目的としたICT活用推進教員研修や、生成AIの利活用を推進させることを目的とした生成AI利活用推進研修を実施するとともに、各管内においてICT活用の状況や好事例を共有する協議会を開催</li> <li>○T-baseの受信校数、配信教科数ともに増加したため、配信スペースを増設するとともに配信環境を改善</li> <li>○教員のニーズや経験年数等を踏まえた、授業でのクラウドサービス活用に関するオンライン操作研修や、オンライン等による校内研修の支援などにより、ICT活用指導力の向上に関する取組を推進</li> <li>○「道教委ICT活用サポートデスク」への問合せの対応に加え、ICT活用ポータルサイトやGIGAワールド通信による授業改善の取組や実践事例等の情報発信、ICTを活用した授業改善・校務効率化に向けたICT支援員による全道立学校へのオンライン支援等により、学校への支援を実施</li> <li>○道及び道内全市町村教育委員会教育長で構成する共同調達会議を設置し、令和7年度に更新を行う1人1台端末の共同調達を実施したほか、全市町村が参画する北海道GIGAスクール推進協議会を開催し、意見交換・情報共有を通じ、市町村教育委員会によるICT活用教育のサポート体制を強化</li> <li>○道立学校25校において学校のネットワークアセスメントを実施し、課題に対する改善策をとりまとめるなどして、学校のICT環境整備に向けた支援を実施</li> </ul>	<p>1107</p>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇「地域がもっと輝く」北海道の実現に向けて、知事が地域を訪問し、市町村長や地域で活躍されている方々との直接対話を通じて地域との絆を深める「スクラムトーク」【R6:6回】と地域づくり実践者等との懇談により、地域の創意工夫ある取組を直接お聞きし、広く発信する「なのおみちカフェ」【R6:50回】を実施</li> <li>◇働き手不足解消に寄与するため、振興局職員が地域の一次産業や観光業等における副業を通して地域貢献を図る取組を後志及び日高で実施【R6:副業従事者延べ人数46名】</li> <li>◇地方新聞等を活用し、地域情報を発信</li> </ul>	<p>—</p>

※主な取組については、令和7年度基本評価・事務事業評価調書(「○～」)、道ホームページ等(「◇～」)より引用・作成